



ピアノと私



こぐまじゅんこ

私の家には、アップライトのピアノがある。

私が生まれる前から、そのピアノは、南側の部屋にずっとある。叔母ちゃんが、小さい頃弾いていたんだって。

叔母ちゃんが、お嫁に行ってから、そのピアノは誰も弾かなくなった。ピアノは捨てられるかもしれない運命だったの。

でも、私が生まれてから、お母さんは、私にピアノを習わせようって決めたんだ。3歳の誕生日がきたら、私は近所のピアノ教室に連れて行かれた。

きれいな女の先生が、「ねこふんじゃった」を弾いて聞かせてくれた。なんだかとっても、わくわくしたわ。右手と左手を交差させたりして、すごいなあ・・・、って思った。私は、すぐにピアノ教室が大好きになった。

お母さんは、小さい頃、ピアノを買ってもらえなくて、ピアノは全然弾けないけど、私が、ピアノの練習をしていると、必ずそばにきて、聞いてくれる。

それに、うちのピアノも、なんだかこの頃、元気になったみたいなの。

今日、スタッカートの練習をしたら、ピアノが、
「あっはっはっは。」
って笑ったんだよ。

私とピアノは、大の仲良しになったみたい。

大きくなっても私は、このピアノといっしょにいろんな曲を弾きたいんだ。

だから、ピアノさん、長生きしてね。